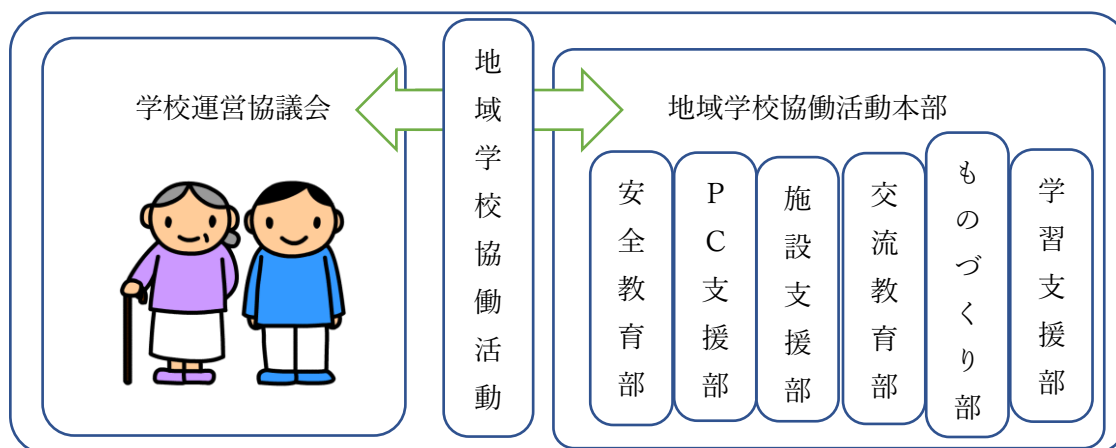


中洲小学校 令和8年度 活動のまとめ

1 学校運営協議会の組織



2 学校運営協議会 年間のあゆみ

(1) 第1回 令和7年5月21日(水) 19:00~20:00 (多目的教室)

- ・令和7年度組織について 学校運営協議会規約などの確認
- ・今年度の年間行事予定の確認
- ・令和7年度学校運営方針についての確認
(令和6年度 第4回学校運営協議会で承認済み)

(2) 第2回 令和7年8月27日(水) 10:20~12:00 (多目的教室)

- ・校内参観(フリータイム~3時間目)
- ・各部の活動報告・今後の予定
- ・グループラインの運用について
- ・グループに分かれての熟議

行動目標に寄せた中洲小学校の児童の目指す姿
熟議で出たご意見

- ・休み時間の参観を初めてした。また自分の子ども以外の他クラスを見た。それぞれ子ども同士で協力している姿が見られた。
- ・素の姿が見られた。どの児童も楽しそうであった。
- ・休み時間が終了するとすぐに教室に戻るなど、メリハリがついていた。
- ・先生方もPC機器をたくさん使っていた。
- ・PCを使っている授業があったり、朗読をしていたり、工夫がされていた。自分の行いたい学習を進め、他人と違う課題に取り組んでいいという雰囲気があり、今の学校の目指す姿が少し見られた。
- ・六年生は学級目標にも「自分たちで進めていこう」という気持ちが見られた。
- ・レベルの高い地域学習を進めていると思った。
- ・遅刻してきた児童に、優しく声をかけていた姿が印象的であった。
- ・「こんな学び・こんな教材をこう教えたい」と相談していただけると良い。
- ・遠足の付き添い、校外学習での地区を通るときに見守り(この箇所を立てて見守りしてほしい)など協力できそう。



(3) 第3回 令和7年12月4日(木) 19:00~20:00

- ・各部の活動報告・今後の予定
- ・キョロブラ活動の現状と今後について

高齢等によるメンバーの負担が増えている。キョロブラに登録している人数は100人いるが、10月まで一度も来ない人もいる。来てくれる人は、ほぼ毎回決まっている。令和8年度は、期間の短縮という形で負担を減らすことで調整するが、令和9年度はどうしていくのが良いのか、学校運営協議会の安全部会の活動として考えていくために、検討委員会を立ち上げてほしい。令和8年の12月には、令和9年度の方を決めてほしい。基本は保護者みんなが協力できる方向を見出してほしい。

→令和9年度以降のキョロブラ活動について検討委員会を立ち上げることを決定した。

- ・中洲教育を考える会について

(4) 第4回 令和8年2月3日(火) 19:00~20:00 (多目的教室)

- ・令和8年度の学校運理方針についての提案と承認
- ・学校運営協議会の組織・委員について
- ・各部の活動報告と次年度の計画について

3 地域学校協働活動の実際

(1) コーディネーター ~つなぐ活動~

ア 「学校だより」の地域回覧実施(3年目)

イ 「中洲小学校コミュニティ・スクール通信」の作成・発行(2/1現在 7号発行)

- ・学校運営協議会の活動について、地域が共有できるよう、昨年度から発行を始め、本年度も地域回覧、保護者、職員への配布、HPの掲載を行う。

(6/1, 7/1, 8/1, 9/15, 11/1, 12/15, 2/1)

ウ 交流部会「かりん栽培支援活動」への協力

- ・南中学校のカロンの樹木4本を借りる。「かりんの会」を通して)
- ・かりんの植樹(市より配布された苗木)
- ・来年度以降も、南中「かりんの会」とも連携し、新しく苗木を手に入れ育てる活動等支援していきたい。(新設小中一貫校でも取り組めることをめざして・・・)

エ 安全教育部会・学校と連携

- ・新一年生の通学班名簿作成・通学路検討に関わる支援

オ 「高齢者と小中学生の交流活動」など、中洲四賀地区での地域学校協働活動の推進

- ・「高齢者との手紙交流」の取組推進
- ・10月29日(水)手紙の受け渡し式、11月上旬に独居老人宅に配達。
- ・中洲小児童会は、福祉委員会の年間活動計画として児童総会に提案して承認を得るという方法で、「子ども達が主体的に」取り組んだ。

⇒三校ともに児童会・生徒会活動として位置付けられるよう働きかけたい。

カ 南部三校の連携

- ・コーディネーター連絡会の開催・・・13回予定(前年比+3回)

(4/24, 5/22, 6/17, 7/23, 8/20, 9/17, 10/23, 11/4, 11/19, 12/22, 1/20, 2/24, 3月未定)

- ・各校の様子について実情や課題を共有し、三校CS通信を発行した。(7/1, 12/1)
- ・来年度から統合に向けての取組(合同学校運営協議会開催等)の検討を始めたい。

- カ 公民館講座「親子土曜教室」等と連携しての地域学校協働活動の推進
- ・ 小学校 P T A 親子文庫と協働して「地域住民による読み聞かせ」推進
 - ・ 公民館講座「読み聞かせの基本」4/26 実施 ⇒ ボランティア募集
 - ・ P T A 親子文庫役員さんが連絡調整をラインで行い効率化。
 - ・ 5/16, 6/9, 7/14, 8/25, 9/8, 10/20, 11/10, 12/22, 1/19, (2/16, 3/9) ; 11 回
 - ・ まだ、全学級に読み聞かせに入れない時が多く、ボランティアの増員が必要
⇒ 来年度以降、岩波茂雄を先人に持ち、風樹文庫を生み出した中洲地域として、地域全体で読書の気風を高め、ボランティアへの参加者を増やしたい。
 - ・ 公民館講座①・・・親子講座「土曜教室」推進

親子シャボン玉の科学	7月29日(火)	カントリークッキーづくり	8月5日(火)
親子ピザづくり	9月27日(土)	パンのクリスマスリース作り	12月13日(土)
初めてのバタンク	10月5日(日)	※ 中止:「宮川下り遠足」	

公民館講座②・・・新企画「若いも若き(働く世代)も参加できる土曜&夜の講座」

読み聞かせの基本	4月26日(土)午後	初めてのヨガ	6月18日(水)夜
初めてのヨガ 2	11月13日(火)夜		

- ・ P T A のための講座も、夜間や土曜を使って実施した。今後も続けたい。

(2) 学習支援部会 ～学びを支える活動～

		外部講師 (所属等)	支援内容 (概略)
1	遠足		10/31 付き添い (河西) ※安全教育部会の皆さん多数参加
2	生活	公民館 河西さん 学習支援部会部員 (笠原・小林・原・伊藤)	・ 学校周辺探検 (公民館と八龍社公園) 9/16, 17, 18 実施 ・ 神宮寺探検 9月25日(木)実施
3	社会 総合	関雅一さん (NPO 地域学習支援センター) 八幡廣子さん (絹工房)	・ 工場で働く人々単元 工場見学「テンホウ」説明と見学 (11/10, 11/14, 12/4 実施) ・ 藍染体験 (11/27 実施)
4	社会 音楽	関雅一さん (NPO 地域学習支援センター) 諏訪市木遣り保存会	・ 「郷土の伝統・文化と先人たち」単元 小池作之助の業績について、現地見学の案内 (11/10 実施) ・ 「木遣り学習」(音楽の一単元) ⇒ 本年度3年目 (11/5, 6, 7 実施)
5	総合	地区公民館 原主事 中洲公民館 河西さん	・ 6年3組「総合」との連携 (当日 11/2 5, 6年生有志 20 余名参加) ⇒ 中洲地区公民館文化祭こどもまつり参画・ボランティア参加
6	総合 総合	※交流部会 ※風樹文庫	・ 6年2組カリン栽培 (既述) ・ 6年1組「紙芝居」発表会 1/28 (中洲公民館講堂)
特 活	クラ ブ	藤森ヒロ子さん 中洲公民館 河西	・ 華道クラブ講師、作品公民館展示 (10/2~5) ・ 地域探検写真クラブ講師、作品公民館展示 (12/1~26)
課 外		平林正男公民館長 中洲公民館 河西さん	・ サマースクール支援 (8/20, 21 実施)

- ・ 児童作品の公民館展示をすることで、土曜に家族が子どもの作品に触れることのできる

機会となる。

- ・総合やものづくりの学習への支援が、まだ可能である。
- ・サマースクール支援は、継続して支援していく。
- ・来年度クラブ講師候補・・・茶道クラブ（講師；不言会、会場；中洲公民館和室）

(3) ものづくり部会 ～田んぼや畑で作る活動～

活動内容

- ① 4月12日 ジャガイモ植え・スタッフ会議
- ② 4月26日 あぜ塗り
- ③ 5月10日 田植え
- ④ 5月18日 夏野菜植え
- ⑤ 6月14日 畑の草取り 魚釣り
- ⑥ 7月26日 夏野菜収穫 魚釣り
- ⑦ 9月15日 稲刈り
- ⑧ 10月4日 焼きいも
- ⑨ 11月22日 餅つき
- ⑩ 3月 スタッフ会議



3月のスタッフ会議から今年度の中洲クラブの活動がスタートしました。これまで中洲クラブ講師、スタッフ、先生方が中心となり厚生部は活動に参加するというスタイルでしたが、今年度から徐々に厚生部主体に活動を行うことになりました。初年度ということもあり、手探り状態でしたが少しずつ厚生部が主体となって活動を行うことができました。先生方が中心となっている部分がまだあるので来年度以降はもう少し移管できれば良いのではないかと思います。中洲クラブ講師ご指導のもと、田んぼや畑の耕し方や苗の植え方、収穫の仕方など子どもたちは普段なかなかできないことを経験させていただきました。今年度は天候や作物の生長が思うようにいかないなど自然の厳しさを感じる場面もありました。普段当たり前のように食べている野菜やお米などはさまざまな人の苦労があって作られているということを実感いたしました。今年度のすべての活動を執り行うことができたのも中洲クラブ講師、スタッフ、先生方、厚生部役員の皆様、参加してくれている児童、保護者の皆様のおかげです。中洲クラブに関わっていただいた皆様、1年間ありがとうございました。
(令和7年度 ものづくり部会長)

(4) 交流教育部会 ～カリンを通しての交流活動～

カリンの木の世話を通して、6年生と1年生が交流しながら、兄弟や姉妹の様に関わりを深め仲良くなっていく。そんな活動の手助けができればと考えている部会です。



- 6 / 30 6年生によるカリンの摘果と袋がけ（中洲小と風樹文庫の樹木）
- 7 / 7 6年生と1年生によるカリンの摘果と袋がけ（南中の樹木）
- 10 / 29 カリンの実の収穫（6年・1年生）
- 10 / 29 カリンの毛取り（6年・1年生）
- 10 / 31 カリンの加工 砂糖漬け作業（6年生）
- 2 / 5 カリンのビンの消毒（交流教育部会部員）
- 2 / 6 カリンのビン詰め作業（6年生）
- 2 / 27 カリンの枝の剪定作業（6年生）
- 3 / 6 カリンの枝の選定作業（6年生） 予備日



今日、カリンの袋かけをしました。袋かけは初めてで、最初は分からなかったけど、黒澤さんが丁寧に教えてくださったので楽しくできました。次は、一年生に教えてあげるので、今日教わったことを一年生が「楽しい」と思えるようにわかりやすく教えてあげたいです。黒澤さんが、「心をこめて」と言っていたので、これから心をこめて大切に育てたいです。 （6年児童の感想）

（5）施設支援部会 ～校舎内外の整備支援の活動～



本年度は学校の外環境係より依頼を受け、前年秋に耕したふれあい農園を再度全面的に耕しました。年ごとにレイアウトが変わるユニークな畑を、シーズンの初めに一旦まっさらにするための作業です。とてもきれいに整地できその後のレイアウト作成にも生かされました。

また本年度よりプール清掃のお手伝いを行いました。昨年度までは業者に依頼していた作業を、本年度は施設支援部会が引き受け実施をしました。子どもたちが楽しみにしている夏の水泳学習前のとても大切な作業でした。プール清掃が完了すると、プールには真新しい水が入り、夏の太陽にキラキラと輝く美しいプールとなりました。気持ちよさそうにプールで泳ぐ子どもたちの姿を想像すると、なんだかうれしく感じました。

その他にも、宮川付近の土手の草刈り、児童玄関前駐車場の看板の修理、校庭入り口の車止めの修繕【作業予定】などを行いました。

また、春と秋のPTA作業にも参加しました。春は体育館のワックスがけ、校舎周辺の側溝掃除、そして校庭の石拾いなどを行いました。秋の活動では、草刈り機を使って宮川土手や校庭周辺の草刈りや校庭の草取り、図書館の整理などを行いました。多くのご協力ありがとうございました。（令和7年度 施設支援部長）

（6）PC支援部会 ～PCの支援の活動～

本年度は地域公開講座の一講座を担当していましたが、クラブ移行に伴い、PCの児童支援は行いませんでした。今年度は例年行っている校舎配置図の作成、中洲教育を考える会の配信のための

支援を行いました。本年度今後の活動として、児童用タブレットが入れ替えに伴い、年度末に設置の支援を行います。

(7) 安全教育部会 ～児童の安全を守る活動～

① キョロブラ活動（下校時の見守り）

② キョロブラ以外の活動

- ・ 1, 2年生の歩行訓練支援を実施
- ・ 避難訓練への立合い
- ・ 1年生への防犯教室への参加

③ 特記事項

- ・ 諏訪市防犯協会連合会より中州小学校安全教育部会が功労者団体として表彰される。
- ・ 1年生の徒歩遠足への安全支援活動をトライアルとして実施。
- ・ 学校運営協議会に「令和9年度以降のキョロブラ活動運用の在り様」について提案
学校運営協議会内に検討委員会を設け検討を進めることが確認された。

④ 次年度（令和8年度）に向けて

- ・ 「令和9年度以降のキョロブラ活動運用の在り様」検討委員会に正副部会長が参加し、令和8年12月までに結論が出せるよう、積極的に検討委員会への参画を実践する。
- ・ キョロブラ中心の安全教育部会活動から脱却し、新たな活動の柱となるものを学校と協働して検討する。（令和7年度にトライアル実施した遠足安全支援など）

③ 組織体制について

- ・ 令和9年度は検討委員会の結論によっては、大きく変わることが予測されることから、現体制を維持して令和8年度を運用する。

4 まとめ

(1) 成果

コミュニティ・スクールとして活動してきた20年という長い歴史の中で、地域の皆様の思いは大きく、これらの思いによって様々な活動を支えられ、活動が充実・成立してきていることがわかる。

学習支援部会の地域学習の外部講師の開拓、ものづくり部会の中洲クラブの当日運営の仕方（進行が学校職員からものづくり部会に一員であるPTA 厚生部へ）交流部会のカリンの栽培における南中との交流、安全教育部会の1年遠足時の見守りなど昨今の状況に合わせた新たな活動が展開された。

(2) 課題・次年度に向けた展望

令和7年度はCS コーディネーターのCS通信の発行や、会長の来入児保護者会での説明などで学校運営協議会を知っていただく機会を多く作ってきた。しかしいまだ知っている方は少ない現状がある。現在の学校運営協議会では高齢化・後継者問題、担当者の負担など課題も多いという声が多くあがる。今回の安全教育部会のキョロブラ活動検討委員会のように、新たな方策を協議会又、学校や地域全体の問題として考えていく必要があると思われる。活動の良さを知り継続可能としていくために、学校運営協議会の部会だけでなく幅広く多くの立場で考えていく必要がある。

